FUKUOKA CITY

■記事についてのお問い合わせはこちらへ
広報課 ☎711-4016 Ⓕ732-1358
■市政に関するご意見はこちらへ
広聴課 ☎711-4067 Ⓕ733-5580
■配布に関するお問い合わせはこちらへ
フリーダイヤル 0120-25-3912
※Ⓕはファクスの略号です。
●福岡市ホームページアドレス
http://www.city.fukuoka.jp/

県知事 | 県議会議員 | 市議会議員
統一地方選挙
投票日は 4月8日(日)
問合せ／市・区選挙管理委員会

ふ・く・お・か 市政だより

No.1360
2007（平成19年）
4/1

今号のおもな内容

●福岡演劇フェスティバル開催 ― 1面
●健康づくりセンター体験リポート ― 2面
●「ノーマイカーデー1日乗車券」の利用を拡大 ― 3面

人口/1,418,556人
男/680,944人 女/737,612人
世帯数/664,807世帯（平成19年3月1日現在推計）

編集・発行 福岡市市長室広報課 〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号（毎月1日・15日発行）
印刷/株式会社西日本新聞印刷

ザ・福岡的春芝居見本市、始動。

第1回福岡演劇フェスティバル開催

4/13（金）～5/20（日）

「福岡演劇フェスティバル」（主催／福岡演劇フェスティバル実行委員会、㈶市文化芸術振興財団、市、イムズ、西日本鉄道、＝以下福フェス）は、市と福岡内外の演劇人、地域の演劇ファン、地元企業が一丸となって、演劇の魅力を広めていくことを目的に開催。公募で選ばれた地元劇団のほか、全国で話題の劇団など計9団体が本市に集合します。各劇団の十八番をズラリ紹介する〝お芝居の見本市〟をテーマに、4月13日㈮から約1か月、市内を演劇一色に染めます。

本市で開催する意味は？

福フェスの開催は、若手演劇人に創造の舞台を提供し、ステップアップの場としてもらうと同時に表現を志す人々の出会いの場となることを目的としています。本市で本格的な演劇祭であり全国でも〝元気なまち〟と評される市の魅力をさらに高める絶好の催しといえます。

「本市の演劇界の振興はもちろん、演劇を通して創造的、文化的なまちづくり、市民生活の豊かな広がりも大きな目的です。また、市と演劇人、民間ホールなど地元企業が一緒になって盛り上げていくことで地域の魅力づくりを担う新しいネットワークも作りたい」と、㈶市文化芸術振興財団の松尾昌彦さん㈫は話します。

「いずれは毎年秋に演劇祭を開催している北九州と連携し〝春の福岡、秋の北九州〟といわれるよう、お互いの持ち味を生かし、福北地域として魅力ある都市圏づくりにつなげていきたい」と、抱負を語ります。

福フェスの中身は？

4月13日㈮～5月20日㈰、主催者がそれぞれ管理する、西鉄ホール、イムズホール（中央区天神）、ぽんプラザ（博多区 園町）の3会場で9団体が公演を行います。

福フェスの特徴は、主催別による招待公演と、地元劇団による公募枠の公演を行うこと。

西鉄ホールは、全国レベルで活躍する3団体。イムズホールは、コンテンポラリーダンスなど最新の先駆的舞台を提供する2団体、ぽんプラザは地方で活躍する個性的な1団体を招きます（詳細は左下）。

福フェスのポスター

「演劇は音楽、ダンス、美術とさまざまな要素が入っている総合芸術。それぞれの表現者と行政、民間企業などが集結することで、まちに新たな動きが生まれるのでは」。福フェスの実行委員長の中村絵理子さん㊳は笑顔で語ります。

中村さんは、西鉄ホールのプロデューサーでもあり、全国の演劇人が絶大な信頼を寄せる存在です。

「息長く続けたい。いずれ子どもからシニアの方々までも参加できるようなシステムも作りたい。そうすれば演劇の間口が広がるはず。演劇のバリアフリーは福岡のまちの活性化にきっとつながると思うのです」と目を輝かせます。

◇

「演劇…」「演劇♥」 あなたに目からウロコの3劇団

今回注目したいのが、地元公募枠で選ばれた劇団の公演です。

九州・山口から応募があった7劇団のうち、同フェスティバル選考委員会（8人）が芸術点、技術点、活動点において採点し、「空間再生事業劇団GIGA」（＝以下GIGA、福岡市、主宰・菊沢将憲さん）、「劇団きらら」（＝以下きらら、熊本市、同池田美樹さん）、「のこされ劇場≡」（＝以下のこ劇、北九州市、同市原幹也さん）の3劇団が決まりました。

各劇団の主宰者に、福フェスや上演作品への思いを聞きました。

―「各劇団の自己紹介を」

GIGA「平成7年に旗揚げし、空間にこだわって銭湯や病院、路上などで公演。平成17年に当劇団の演出家、山田恵理香が、才能ある演出家を発掘し支援する利賀（とが）演出家コンクール（富山県）で優秀演出家賞を受賞して勢いがつきました。現在は韓国の劇団とも交流しています」

きらら「旗揚げして22年。平成7年にイムズ芝居最優秀賞、同15年には小劇場の人々に支持されている東京アリスフェスティバルにてアリス賞を受賞。熊本を拠点に東京、福岡、中国・上海などで、積極的な活動をしています」

のこ劇「平成15年に旗揚げ。お店や老人施設で公演したり、形にこだわらず、ダンスから和風ミュージカルまでいろんなことに挑戦しています」

―「作品の見どころを」

GIGA「タイトルは『カンディード―或いは楽天主義説―』で青年が世界中を旅する冒険物です。18世紀のドタバタSFを山田が演出します。人生って何かなというテーマを楽しく見せます」

きらら「『OTO～デシベルジャングルにグラマー美人～』。女ばかりの国に迷い込んだ青年が見たものとは…？11年前、イムズで行った再演です。グレードアップした舞台をお楽しみに」

のこ劇「田山花袋の『蒲団』をアレンジした『蒲団―futon―』。若い女の子に片思いし、『妻が死ねばなぁ』と夢想悶絶。その様子をテンポ良く見せていきます」

―「福フェスへの思いを」

GIGA「西鉄ホールで公演するのは大きな挑戦。GIGAはこうです！と主張したい。そして今回出会えたたくさんの人たちと一緒に楽しめたらと思っています」

きらら「熊本とは違うお客さんが来てくれるのが楽しみ。福岡ならではのおおらかさ、豊かな文化の中で評価されたい。期待しています」

のこ劇「あこがれの福岡でやったという実績になる絶好の機会。なるべくいろんな所で演劇の種まきができたらという使命感を感じています」

―「ありがとうございました」

左からGIGAの菊沢さん、きららの池田さん、のこ劇の市原さん。福フェスのイメージポーズでパシャリ！

地元にこだわる人気の劇団「ギンギラ太陽's」も登場！

待ってま～す！

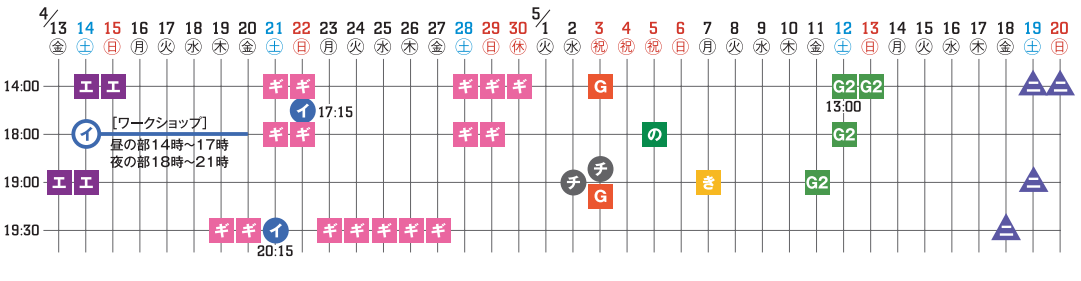
今回の作品は、10周年を迎えるギンギラ太陽's の原点ともいえるデパートキャラ大集合の「流通戦争スペシャル」です。

ソフト面での新しい〝福岡の名産〟を目指す、主宰の大塚ムネトさん（＝写真）は笑います。

「10年間お客さまに支えてもらい感謝でいっぱい。作品は福岡が舞台。まちの新旧を懐かしみつつ、自分とまちとのかかわりを感じつつ、楽しんでもらいたいです」。

【問合せ先】▽記事＝㈶市文化芸術振興財団（☎263・6266Ⓕ263・6259 メールnpo@ffac.or.jp）▽福フェス＝NPO法人アートマネージメントセンター福岡（☎951・6200Ⓕ952・0444 www.amcf.jp）

スケジュール



エ＝エルカンパニー「産隆大學應援團～地上最強のチアボーイズ参上～」
イ＝イッセー尾形のワークショップ発表公演「イッセー尾形のつくり方2007 in博多」
ギ＝ギンギラ太陽's「流通戦争スペシャル」
チ＝チェルフィッチュ「三月の5日間」
G＝空間再生事業 劇団GIGA「カンディード―或いは楽天主義説―」
の＝のこされ劇場≡「蒲団―futon―」
き＝劇団きらら「OTO～デシベルジャングルにグラマー美人～」
G2＝G2プロデュース「ツグノフの森」
△＝ニットキャップシアター「お彼岸の魚」

※料金は有料（公演によって異なります）
※会場／□は「西鉄ホール」、○は「イムズホール」、△は「ぽんプラザ」
チケットは、ローソン・ダイエー各店、チケットぴあなどで

小さな手　心をつなぐ　大きなわ　（人権尊重週間入選標語　有田小学校6年　伊藤　真由子さんの作品）

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています